

2024年12月

大学の学生募集に関する調査 集計(全体 回答数 322)

東京大学大学院 教育学研究科 大学経営・政策研究センター

●この調査は、全国の大学の学生募集や入学者選抜に責任をもたれている方に、現状と課題、将来展望等をお聞きし、今後の学生募集や高大接続のあり方を検討することを目的にしています。ご回答者として、理事・副学長のほか、学長、理事長、事務局長、入学センター長等を想定しています。責任者ご本人による、学内の議論をふまえた率直なご回答をお願いいたします。

●ご記入いただいた内容は大学名および回答者名の匿名性を確保したうえで、分析を行います。調査に協力いただいた大学名・回答者名を許諾なく公表することは決してありません。(下記の※参照)

●ご回答は2024年12月26日(木)頃までをお願いいたします。同封の返信用封筒(切手不要)にてご返信ください。(期限を過ぎても、可能な限り受け付けますので、ぜひご回答をお願いいたします)。インターネットの入力フォームからのご回答も受け付けておりますので、ぜひご利用ください。同封の「ご協力をお願い」に記載のURL・QRコードまたは下記センターのサイトより回答ページにお入りいただき、下記の「ログインID」を入力の上、ご回答ください。

ログインID

※ログインIDは、重複回答の判別および分析時の大学情報(所在地、規模、設置学部等)との紐づけを目的とします。集計・分析は大学名・回答者名の匿名性を確保した統計数値として処理され、報告書、論文等においても回答大学名、回答者名を示すことは決してありません。

●この調査は東京大学大学院教育学研究科大学経営・政策研究センター(<https://ump.p.u-tokyo.ac.jp/crump/>)が行うものです。広島大学高等教育研究開発センターの国際共同研究推進事業「大学における教育研究の生産性向上に関する国際共同研究」の助成を受けています。調査結果の概要は上記ページに掲載する予定です。ご希望される方には、概要掲載後、電子メールにてお知らせします。

【お問い合わせ先】

【調査協力の同意】下記の□にチェックのうえ、質問への回答をお願いします。

□別紙「ご協力をお願い」および上記の説明を読み、本調査の趣旨と方法を理解し、調査に協力します。

問1 学部段階の学生募集上の課題は何ですか。

<a~i それぞれ横にお答えください。○は1つずつ>	大きな課題	やや課題	あまり課題でない	課題になっていない
a. 定員の確保	57.8	24.8	10.9	6.5
b. 志願者数の減少	64.6	27.3	5.0	3.1
c. 入学者の学力が不足	20.2	64.9	12.4	2.5
d. 入学者の学習意欲が不足	8.7	55.6	30.4	5.3
e. 入学者の志望動機が不明確	1.6	31.2	52.0	15.3
f. 入学者の多様性が不足	3.7	24.5	50.0	21.7
g. 執行部と学部教員との学生募集の考え方に乖離がある	4.7	34.4	41.6	19.4
h. 入学者数の確保と質の確保が両立しない	21.5	53.3	21.5	3.7
i. 入学者の学力の変化に教員が対応しきれない	7.2	39.3	44.5	9.0

問2 (1)10年前と比べ、学部の次にあげた人数等は、どのように変化しましたか。

(2)また、今後はどのように推移すると予測されますか。

※「年内入試」は、試験実施日によらず学校推薦型選抜・総合型選抜を示します。(以下の設問も同様)

<a~hそれぞれ横にお答えください。

(1)(2)それぞれ○は1つずつ>

	(1)10年前と比べて			(2)今後の予測		
	増加した	変わらない	減少した	増える	変わらない	減る
a. 入学定員	34.2	47.9	17.9	7.7	58.8	33.4
b. 入学者数	28.7	30.9	40.4	9.4	44.2	46.4
c. 志願者数	22.0	13.7	64.3	8.1	16.3	75.6
d. 「年内入試」による入学者の比率	74.9	21.9	3.2	72.0	27.0	1.0
e. 入学者の女性比率	29.8	63.8	6.4	24.3	73.8	1.9
f. 入学者の地元(所在県)出身比率	28.0	62.4	9.6	21.4	68.0	10.7
g. 学費水準	32.5	62.1	5.5	33.2	64.5	2.3
h. 独自奨学金の規模	40.8	49.8	9.4	23.4	71.8	4.9

問3 今後、獲得に特に力を入れたいのはどのような入学者ですか。

<a~iそれぞれ横にお答えください。○は1つずつ>

	とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
a. 教科学力の高い学生	22.6	62.4	14.4	0.6
b. 探究学習の経験が豊富な学生	27.2	61.6	10.9	0.3
c. 学問分野の志望動機が明確な学生	46.9	49.7	3.4	0.0
d. 自大学を第一志望とする学生	50.6	40.9	7.8	0.6
e. 女子学生	21.7	43.4	31.1	3.8
f. 地元以外(所在県外)の高校出身の学生	18.5	58.0	21.9	1.6
g. 通信制高校出身の学生	6.6	33.2	46.4	13.8
h. 外国人留学生	11.9	39.7	34.7	13.8
i. 社会人学生	6.6	36.3	46.9	10.3

問4 学生募集に関連して、近年(最近5年以内)に実施したこと、今後の実施を検討していることは何ですか。

<a~iそれぞれ横にお答えください。○は1つずつ>

	実施した	実施していない		
		実施予定	検討中	検討せず
a. 学生定員の削減	12.2	1.9	12.8	73.1
b. 「年内入試」の割合の拡大	56.1	8.1	19.0	16.8
c. 学費の値上げ	24.6	7.5	18.4	49.5
d. 学費の値下げ	4.0	0.3	3.7	91.9
e. 独自奨学金の拡充	32.2	3.4	22.5	41.9
f. 学部の再編・新設	32.7	8.4	21.8	37.1
g. 他大学との連携	25.3	2.2	20.6	51.9
h. 高校との連携協定	51.3	6.3	19.1	23.4
i. 高校の付属校・系列校化	6.6	0.9	8.5	84.0

問5 入学者選抜実施上の課題は何ですか。

※貴学が実施していない選抜方法等に関する項目は「実施していない」を選択してください。

<a～k それぞれ横にお答えください。○は1つずつ>

	とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	※実施していない
a. 作問の負担が重い	45.7	40.7	12.4	0.9	0.3
b. 採点の負担が重い	20.5	43.8	31.7	3.1	0.9
c. アドミッションポリシーを選抜方法に十分に反映できない	0.9	27.3	61.2	10.6	0.0
d. 入学者数確保を優先するため十分な選抜ができない	11.8	34.2	41.3	12.7	0.0
e. 学校推薦型選抜や総合型選抜の評価方法が確立していない	1.6	11.8	56.5	28.0	2.2
f. 指定校推薦では、求める学生が推薦されるとは限らない	6.8	32.6	31.4	4.3	24.8
g. 付属校・系列校から自大学への入学者数が十分ではない	11.5	20.8	14.0	3.7	50.0
h. 調査書に記載される内申点は絶対評価のため信頼できない	5.9	30.3	55.6	7.2	0.9
i. 大学入学共通テストの難易度は志願者層に合わない	6.2	22.4	55.0	10.6	5.9
j. 大学入学共通テストの運営の負担が重い	39.1	35.4	13.4	2.5	9.6
k. 入学後の追跡調査の分析が十分ではない	10.6	48.9	36.4	3.4	0.6

問6 (1)2024 年度入試で実施した選抜方法すべてに○をつけてください。

(2)2024 年度入学者の選抜方法ごとの割合（％、小数点以下は四捨五入）が分かれば、ご記入ください。

※「b. 共通テスト選抜」は、共通テストのみで実質的に合否判定する選抜を示します。「f. 付属校推薦」は、付属校・系列校のみを対象とした学校推薦型選抜を示します。（以下の設問も同様）

<a～f それぞれ横にお答えください。(1)はあてはまるすべてに○>

	(1)2024 年度入試で実施	(2)入学者の割合（％）
a. 一般選抜(共通テスト選抜を含まず)	97.2	％
b. 共通テスト選抜	67.4	％
c. 総合型選抜	87.0	％
d. 公募制推薦	85.1	％
e. 指定校推薦	73.3	％
f. 付属校推薦	40.4	％

問7 選抜方法ごとに入学後の学習を比較したときに、(1)入学後の学業成績が優れた学生(2)学習意欲が高い学生は、それぞれの程度いますか。※実施していない選抜については空欄としてください。

<a～f それぞれ横にお答えください。(1)(2)それぞれ○は1つずつ>	(1)学業成績が優れた学生				(2)学習意欲が高い学生			
	多い	やや多い	少ない	分からない	多い	やや多い	少ない	分からない
a. 一般選抜	13.2	52.7	5.3	28.8	6.0	40.1	12.0	41.9
b. 共通テスト選抜	21.0	39.0	7.3	32.7	7.7	26.6	22.2	43.5
c. 総合型選抜	4.7	27.6	35.8	31.9	16.1	38.6	9.1	36.2
d. 公募制推薦	5.4	34.1	23.6	36.8	13.8	35.2	9.6	41.4
e. 指定校推薦	12.0	38.9	19.4	29.6	15.1	41.3	8.7	34.9
f. 付属校推薦	7.6	21.4	36.6	34.5	4.8	25.5	25.5	44.1

問 8 (1)a～k のそれぞれの狙いを達成することを主眼に実施している選抜方法はどれですか。
 (2) a～k それぞれの狙いを達成するために最も重要な選抜方法はどれですか。
 ※a～k の中で貴学が選抜の狙いとしていない項目については、(1)(2)とも空欄としてください。

<(1)はa～kそれぞれ横にお答えください。あてはまるすべてに○>	(1) a～k の狙いを達成することを主眼とする選抜						(2)最も重要な選抜 (1～6 から1つ記入)
	一般選抜	共通テスト選抜	総合型選抜	公募制推薦	指定校推薦	付属校推薦	
(1)a. 入学定員の充足	61.5	39.0	75.9	61.4	79.2	65.4	
b. 志願者数の確保	69.5	51.8	67.7	57.8	61.0	51.5	
c. 教科学力を備えた入学者の獲得	87.9	78.0	20.0	29.1	25.0	15.4	
d. 探究学習の経験が豊富な入学者の獲得	14.0	7.8	82.6	40.5	35.2	23.8	
e. 学習意欲の高い入学者の獲得	51.7	45.0	67.8	57.2	63.1	37.7	
f. 学習習慣を備えた入学者の獲得	72.7	67.0	29.9	41.7	51.3	30.0	
g. 分野の志望動機が明確な入学者の獲得	25.8	14.7	81.3	64.5	70.8	47.7	
h. 自大学を第一志望とする入学者の獲得	17.5	8.8	78.1	64.0	85.2	60.8	
i. 理念や校風に合った入学者の獲得	20.1	11.5	72.8	53.6	63.6	63.1	
j. 学生の多様性の確保	40.4	38.6	77.3	42.0	34.3	28.5	
k. 地元（所在県）出身者の確保	29.9	20.6	45.7	49.1	63.6	50.8	

問 9 学生募集や入学選抜に関する次の考え方は、貴学にどの程度あてはまりますか。

<a～j それぞれ横にお答えください。○は1つずつ>	とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
a. 大学での学習成果を出すには、高校までの教科学力よりも学習意欲がより重要だ	15.8	65.8	17.7	0.6
b. 入学選考においては、入学者の学力水準の確保よりも、定員確保を優先せざるをえない	18.9	42.6	28.1	10.4
c. 今後の入学選考においては、高校での教科学力より探究学習の経験の確認のほうがより重要だ	4.1	28.6	63.2	4.1
d. 学力が十分ではない学生を入学させても、大学教育で力をつけさせればよい	8.5	51.4	35.0	5.0
e. 高校3年生の秋までに基礎学力の到達度を測る共通テストが実施されれば、自大学の選抜資料に活用したい	14.9	49.5	27.9	7.6
f. 大学独自の選抜をせずに高校からの推薦にもとづいて受け入れる入学者を増やしたい	5.4	25.5	46.5	22.6
g. 求める学生を入学させるには、高校との信頼関係が重要だ	43.5	49.8	6.0	0.6
h. 「年内入試」は、高校の進路指導上のニーズに合っている	11.8	49.4	35.7	3.2
i. 「年内入試」は、受験生の進路選択のニーズに合っている	24.1	65.8	8.9	1.3
j. 入学選抜の対策に家庭の経済状況が影響している	21.3	54.3	20.6	3.8

問 10 (1)受験生への広報活動として力を入れていることは何ですか。

(2)受験生への広報活動として効果があると感じていることは何ですか。

※a～j の中で貴学が全く実施していない項目については、(1)(2)とも空欄としてください。

<a～j それぞれ横にお答えください。(1)(2)それぞれ○は1つずつ>	(1)力を入れている			(2)効果がある		
	とても力を入れている	ある程度力を入れている	あまり力を入れている	とても効果がある	ある程度効果がある	あまり効果がない
a. オープンキャンパス・学内での入試説明会	87.5	12.5	0.0	78.7	21.0	0.3
b. 学外での合同入試説明会への参加	47.5	46.2	6.3	32.6	55.9	11.5
c. 高校での説明会・出前授業の実施	61.8	35.4	2.8	40.1	54.9	5.0
d. 探究学習など高校教育の支援	23.2	51.0	25.8	16.3	56.3	27.4
e. 教職員による高校訪問	47.0	40.1	12.9	23.8	63.7	12.5
f. 在学生を通じた口コミ	16.1	44.5	39.4	32.3	55.4	12.3
g. 大学案内、ウェブサイトなどの広報媒体	59.8	38.6	1.6	41.1	56.6	2.2
h. 広告出稿	19.1	54.7	26.2	8.6	64.1	27.2
i. 研究活動を通じた知名度向上	15.5	58.3	26.2	12.0	59.5	28.6
j. 地域での社会貢献活動を通じた知名度向上	27.0	58.1	14.9	15.9	62.5	21.7

問 11 貴学の志願者は、どのような点を重視して大学を選んでいるとお考えですか。

<a～p それぞれ横にお答えください。○は1つずつ>	とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
a. 設置学部・学科	61.1	36.7	1.9	0.3
b. 入学難易度	27.9	58.3	12.2	1.6
c. 入学者選抜方法	17.2	65.8	16.3	0.6
d. 共通教育の内容	6.3	32.1	52.2	9.4
e. 専門教育の内容	38.6	55.2	5.3	0.9
f. ゼミや研究室での研究指導	13.2	47.3	33.9	5.6
g. アクティブ・ラーニングなど授業方法	6.9	36.1	49.2	7.8
h. 留学支援	7.2	30.7	43.6	18.5
i. 就職や資格取得の支援	41.7	47.3	9.7	1.3
j. 施設・設備	21.0	50.2	25.4	3.4
k. 学費・奨学金	19.1	50.2	27.6	3.1
l. 立地	25.1	39.8	28.2	6.9
m. 規模	9.7	42.0	41.7	6.6
n. 知名度	11.9	42.5	39.3	6.3
o. 同じ高校からの進学実績	10.3	65.2	21.6	2.8
p. 高校教員の指導	22.3	67.4	9.7	0.6

問 12 高校段階の学習が十分でない入学者への対応として、次の取り組みをされていますか。

<a～e それぞれ横にお答えください。○は1つずつ>	(1)影響を与える組織・役職 (あてはまるすべてに○)			
	全学で実施	一部で実施	実施を検討	検討もせず
a. 入学前教育	65.3	25.0	2.5	7.2
b. 入学後の補習教育	23.7	48.6	8.8	18.9
c. 学習が不十分な学生への指導に関する研修 (FD)	21.6	29.8	18.7	29.8
d. 授業方法を組織的に改善	25.9	32.3	25.6	16.1
e. 授業レベルを組織的に調整	15.7	34.2	25.2	24.9

問 13 (1)学生募集に関連した意思決定において、次の組織・役職はどの程度関与していますか。影響を与えているものすべてに○をつけてください。
(2)また、その中で最も影響が大きい組織・役職の番号をご記入ください。
※a～j の中で貴学が全く実施していない項目については、(1)(2)とも空欄としてください。

<a～j それぞれ横にお答えください>	(1)影響を与える組織・役職 (あてはまるすべてに○)								(2)最も影響が大きいもの (1～8から 1つ番号を記入)
	理事会 役員会	学長	担当理 事、副 学長	全学委 員会、 会議等	教授会	事務組 織	政府、 議会	その 他	
a. アドミッションポリシー	24.8	80.7	62.4	82.3	81.1	47.2	1.6	1.9	
b. 入学定員	64.9	84.5	64.3	69.3	67.7	47.5	7.5	1.6	
c. 選抜方法ごとの募集人数	17.7	69.6	52.8	80.1	69.3	55.6	2.5	1.9	
d. 選考・試験の具体的方法	5.3	60.6	46.9	83.2	70.8	59.6	1.2	2.5	
e. 合否ラインの設定	3.7	61.2	42.9	71.1	71.1	44.1	0.3	3.1	
f. 追跡調査に基づく分析	2.8	34.2	29.5	63.0	33.2	67.7	0.3	7.5	
g. 入学前教育の実施	0.9	30.4	24.5	62.4	53.1	58.4	0.6	8.7	
h. 学費水準	72.4	69.6	53.7	35.7	27.6	45.7	8.1	3.4	
i. 指定校推薦対象高校の選定	4.0	40.1	26.1	55.3	42.2	49.7	0.9	2.2	
j. 連携協定を結ぶ高校の選定	10.6	58.1	36.3	52.8	37.0	48.8	0.9	4.3	

貴学についてお聞きします。

問 14 貴学の設置形態は次のどれですか。(○は1つ)

1	国立
2	公立
3	私立

問 15 貴学の在籍学生数（学部のみ、通信教育は含まない）はどちらですか。(○は1つ)

32.6	1,000 人未満
34.5	1,000 人～3,000 人未満
10.9	3,000 人～5,000 人未満
14.3	5,000 人～10,000 人未満
7.8	10,000 人以上

問 16 貴学が設置している学部に関連する教育研究分野はどれですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 人文 41.0	2. 社会 51.2	3. 理工 35.1	4. 農 13.4
5. 医歯薬 18.0	6. 保健・医療 40.4	7. 家政 13.0	8. 教育 37.9
9. 芸術 16.8	10. その他 15.2		

問 17 回答された方のお役職をお聞かせください。（あてはまる番号すべてに○）

1. 理事長 0.3	2. 学長 5.0	3. 担当理事 8.7	4. 担当副学長 16.5
5. 学部長 1.9	6. 入試部署の長 57.5	7. 入試委員会の長 12.7	8. その他 22.7

問 18 このテーマに関する追加のヒアリング調査にご協力いただくことは可能ですか。（可能な場合、下欄に貴学名、お役職、お名前、ご連絡先のご記入をお願いします）。

1	可能
2	内容・時期によっては可能
3	難しい

問 19 本調査の集計結果をウェブサイト公表した際に、通知を希望されますか。（希望される場合、下欄に貴学名、お役職、お名前、ご連絡先のご記入をお願いします）。

1	希望する
2	不要

下欄のご記入は任意です。問 18 で 1・2 を選ばれた場合、また問 19 で 1 を選ばれた場合は、ご連絡のためにご記入ください。

※集計・分析は大学名・回答者名の匿名性を確保した統計数値として処理され、公表する報告書、論文等においても回答大学名、回答者名を示すことは決してありません。

貴学名・お役職	大学（お役職）
お名前	
メールアドレス	

次頁の自由記述欄も、可能ならご記入をお願いします。

最後に、よろしければ、学生募集と入学者選抜に関する展望や課題など本調査の回答項目に補足されたいこと、政府の高等教育政策についてのご意見、社会に伝えたいこと、本調査へのご意見など、自由にお書きください。分析の参考にさせていただきます。

お忙しいところご協力をいただき、誠にありがとうございました。